

頸城・笹ヶ峰～火打・焼山北面山スキー

木下

【日時】 2009年4月18日(土)～19日(日)

【メンバー】L木下 中村 田辺(利)

火打山、焼山の北面には雄大なスキールートが広がる。笹ヶ峰からアプローチして、二つのピークの北面を滑る「一粒で二度美味しい」のルートライン。晴天にも恵まれ、標高差2700mの滑降は実に爽快であった。



4/18 晴

新井駅の駐車場(¥300/日)に車をデポして、JR～タクシーを乗り継いで笹ヶ峰へ。今週から高谷池ヒュッテの山小屋開きとあって数多くのパーティが入っている。笹ヶ峰の積雪は1mくらい、シールで進むが黒沢は雪

がわれて橋がでていた。夏道どおりに行くが、2度ほどの急登はスキーをはずしていく。富士見平で大休止、利香さんの氷ミルクが旨い！！これから向かう火打～焼山の稜線が美しいが、「結構遠いなあ・・・」黒沢山を下り気味にトラバースして高谷池ヒュッテに到着、多くの人で賑わっている。広い雪原の天狗の庭を通り、火打山の登りにかかる、他パーティの軽装をうらやましく横目で見ながら頂上に向かう。



火打山ピークは強風であった、長居も出来ないので早々にシールを取って滑降準備。当初、新建尾根側から北面台地に滑降する予定であったが、雪がなく影火打ルートに変更する。南面側より影火打とのコルに滑り込む。すると、うそのように風がなくなり穏やかになる、そして我々だけの世界となった。

大休止のあと二重山稜のような広い谷に滑り込むが、傾斜はないのでまっすぐのトレ

スをつける。広大な北面台地の景色が広がってくると快適な斜面、各自思い思いのシェパードを刻む。標高2000m付近で右手の沢に尾根を乗り換えると、急斜面になるが雪が腐っており危険はない。ただし重い雪でターンに苦勞する、特にテレマークの二人には疲れる雪質であろう（名手・中村も前転！）。デブリをかわしながら滑っていくと広い谷に合流、傾斜も落ち、楽しくスキーに乗れる。前方に台地発見！幕地に最適。ちょうど標高1550m付近、胴抜キレットに向かう谷の出合下



である。竪穴式の半雪洞を掘ってフライをかける・・・「トマハウス」を1時間ほどかけて作成する。広大な北面台地と小さな水蒸気を吐き出す焼山の景色を楽しみつつ、今日の滑降に乾杯！！

4/19 晴

夜半に風が強くなり、フライがはためく音が騒がしかったが、風もやみ穏やかな朝を迎える。昨日滑降してきた谷の右俣



を登る。谷を離れ、台地上を登り胴抜キレットの上部をトラバース気味に進む。ここから100m程急斜面になるので南東側に回りこんでシル登高すると、標高2200m付近より25° くらいの斜面となり大きくジグをきって頂上へ。

本日は風もなくのんびりできる。頂上からはパノラマが広がる、特に北面台地～



笹倉温泉～日本海へは白から新緑の緑、海の青と春霞のなかに色彩が変化していく。さて滑降だ！ 柔雪にスキーを飛ばす気分は最高、思わず声上がる。急斜面に入ると腐った雪がスラフとなってゆっくりと落ちていく。スラフの落ちた硬い斜面を滑り、胴抜キレットの上部に出た。ここからは20°程



の斜面となり北面台地目指して自由な回転弧を描いて楽しんだ、頂上から雪洞まで約30分の快適滑降であった。



荷物をまとめて、北面台地を滑走。標高1350m付近で賽の河原の雨裂溝を渡る、かろうじて雪が付いておりスキーを外すことなく通過した。振り返ると北面ルンゼからそそり上がる火打山とドーム状の焼山が大きく聳えて素晴らしい景観である。アマネ平へは少し藪がうるさかったが、順調に滑り降りてあとは林道をひたすら滑降した。九十九折れで雪がなくなり歩かされ

るかと思ったが、橋の手前・堰堤のところで滑ることが出来た。満開の桜に迎えられて笹倉温泉へ。

笹倉温泉で入浴後、タクシーで梶屋敷駅へ。北陸本線、信越本線と乗り継いで新井駅に戻る、桜と青い日本海の景色を車窓より楽しんだ。車を回収して「あらい道の駅」で日本海の幸を堪能して帰京の途につく、たっぷり楽しんだ二日でした。以前から考えていたルートライン、お付き合いいただいたお二人に感謝。



【行程】

4/18 笹ヶ峰 (8:00) - 富士見平 (11:00-25)
- 高谷池ヒュッテ (11:58) - 火打山 (13:45-14:00) - 影火打コル (14:10) - 1550m台地 (15:00) C1

4/19 C1 (7:00) - 胴抜キレット上部 (8:15) - 焼山 (9:35-10:10)

- C1 (10:40-11:10) - 賽の河原 (11:35) - アマネ平 (11:50) - 笹倉温泉 (13:35)

【地図】 妙高山 湯川内

